



師走になり皆様方には何かとお忙しい事と思っています。一年という時間の早さに多々、唖然とするばかりです。一年間このくだらない書き出しにお付き合いして下さい、心よりお礼を申し上げますと共に、午年は何とか、みんなで飛躍した年にしたいものです。去年の今頃は、大雪に見舞われてあちら此方で雪騒ぎが起っていましたが、今年は何か不気味です。とは言っても毎年降雪量は同じ程度になるとのことですが、考えられない様な異常な天候が今年も数多くありました。同じ降るなら『アベノミクスの3本の矢』まとめて三本でもどうぞ降ってきて下さい。備えあれば何とか。と言いますが、異常なことは予期していない事が想像以上になることでありますから、色々瞑想する年越しになるかも知れませんね。そんなことで今年もシワー一本追加になります。

◇一般社団法人・日本砕石協会の動向

①冬眠に入っているのでしょうか。目が覚めると消費増税、軽油引取税等々様々な事案が待っています。あまり寝てばかりいると浦島太郎になってしまうのではないのでしょうか。

◇北海道砕石協同組合連合会・(社)日本砕石協会北海道地方本部の動向

①12月10日に理事会が札幌ドームホテルで開催されました。理事会に先立ち、北海道電力(株)から電気料金値上げ並びに高圧電力契約の仕組みについての説明と理事との意見交換がありました。結果として泊の3号機が稼働しない限り、更なる値上げが起こりえること。実量料金体系は全国的ルールあり、北電としては検討する事すら考えていない。一方的なご説明に有り難く拝聴して参りました。…時間が限りなく無駄でした。

②11月20日の骨材資源学会 平成25年度秋季定例研究会・仙台の研修報告。

・講演が2本あり前半は、骨材資源学会の30年の歩で東北大学、岩手大学、秋田大学を中心として、『学』と日本砕石協会東北地方本部を中心とした砕石企業の『産』が互いに連携して砕石生産技術の向上と環境保全に取り組んできた事から、東北地方の採石業者の知識と底辺の広さを感じた。後半は、宮城県土木部部長による「東日本大震災からの復興への取組」をテーマに震災当日のテレビ等で放映されていないVTRを見せて頂き、改めて災害の規模と悲惨な状況を感じた。その中で災害に強い町づくり宮城モデルの構築、命の道となる防災道路ネットワークの整備、物流・交流基盤の強化等を中心に震災から学んだ教訓と今後の方向性。その必要なインフラ整備の根拠と活用についてご講演頂いた。

翌日、東松島、高台移転予定地の宅地造成現場、石巻被災地復興状況現場視察等を行い計画性のある復興対策事業の推進状況には、いささか問題と時間が係るものと判断し、復興事業の焦点がぼやけている気がした。

◇道南地区砕石協同組合・(一社)日本砕石協会北海道地方本部函館支部の動向

①12月2日渡島総合振興局商工労働に年末挨拶をして参りました。その際、高村係長より採石場の入り口に掲示している看板等の内容が古いままの物がある。認可を受けたのであれば都度変更した物にすべきである。との指摘を受けて参りました。同日、林務にも年末挨拶に行き参りました。

②12月20日松山振興局商工労働と林務に年末の挨拶をして参りました。大変に両課ともご機嫌 good でした。

③函館骨材販売協同組合の事務局から函館地区でまた公共性のある箇所に鐵鋼スラグ使用の動向があるとの連絡を受けましたが、協会としては既に鐵鋼スラグガイドラインに基づいた適正化を提案しております。

④札幌での北海道電力との懇談会はそれなりに意義はありましたが、函館支部としてもじっくり北電と意見交換をしたいと考えています。日程調整が出来次第ご報告致します。

⑤事務局の年末年始の休日は、12月30日から1月7日までです。

それでは、皆さん良いお年をお迎え下さい。

※組合に対してのご要望・ご意見等がありましたら、いつでも連絡下さい。

吉田が敏速に対応致します。よろしくお願い致します。